



三菱食器洗い乾燥機

販売店・据付業者様用

据付説明書

<特定保守製品に関するお願い>

- 本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- 特定保守製品とは、経年劣化により家屋・身体に危害をおよぼすおそれがあるため、所有者は点検期間に点検を行う(有償の法定点検)などの保守を行うことが求められている製品です。
- 消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、製品の製造・輸入事業者(特定製造事業者など)に対し、所有者情報を提供する責務(消安法第32条の8第1項)が定められています。

<販売事業者様へ>

- 付属の取扱説明書と所有者票(本体に同梱)は、所有者(消費者、賃貸業者)に必ずお渡しいただくか、所有者の承諾を得て代行記入し、投函してください。
- 所有者(消費者、賃貸業者)へ所有者票に記載の法定説明事項をご説明いただく義務(消安法第32条の5第1項)と、所有者登録にご協力いただく責務(消安法第32条の8第3項)が定められていますので、ご協力をお願い致します。

<据付けをされる方へのお願い>

- 特定保守製品を設置する際に、所有者に対して、点検期間中に点検を行うことが必要であるとともに、特定製造事業者などに所有者情報の提供(登録・変更)をしているか、登録や変更がなされていないようであれば、その必要性をお伝えください。(特に、引越に伴う移設やリフォーム工事の際)
- この製品は、(一般財団法人)電気安全環境研究所(JET)より『給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(厚労省令)』に適合するとの証明を受けています。給水装置への接合に際し、逆止弁などの設置の必要はありません。なお、JETは、厚労省の「給水装置に係る第三者認証機関の業務等の指針」に示された要件を備えた第三者機関のひとつであり、他に(公社)日本水道協会などがあります。
- 給水装置工事(配管工事)は、各市町村にて施工承認を受けた後、指定工事業業者が施工してください。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水质基準に適合した水道水を使用してください。特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は水道法の定める水质基準内である担保が取れないため、使用しないでください。(不具合が発生した場合、保証期間内でも無償保証できません)
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために正しい据付けが必要です。据付け前に、この据付説明書を必ずお読みください。
- この据付説明書の内容に沿って、正しく取り付けてください。据付説明書の内容に従わずに取り付けを行い発生した事故・損害は、一切責任を負えません。
- 据付け終了後、直ちにP27の「**8** 据付け後の確認(チェックリスト)」とP28～30の「**9** 試運転」に基づいて、必ず再確認を行ってください。
- 据付けに関して不明な点がありましたら、販売店へご相談ください。

●この据付説明書は据付け終了後、お客様へ必ずお渡しください。

もくじ

安全のために必ずお守りください	2
1 各部の名称と寸法	4
2 電気工事について	6
3 給・排水工事について	7
4 据付け場所と据付け手順の確認	8
5 電圧の確認	8

6 据付け手順	9
7 部品取り付け方法	26
8 据付け後の確認(チェックリスト)	27
9 試運転	28
10 お客様への説明	31

安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

**注意**

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 図記号の意味は次のとおりです。

 禁止	 分解禁止
 火気禁止	 ぬれ手禁止
 水かけ禁止	 アース線を必ず接続せよ
 指示を守る	

警告

-  禁止
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
(傷付けたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重いものを載せたり、束ねたりしないでください) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因
・コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。
 - コンセントの差し込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しない
感電・ショート・発火の原因
・販売店に点検・修理を依頼してください。
 - コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない
感電・漏電や火災の原因
 - 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない
感電・漏電や火災の原因
 - 延長コードは使用しない
発熱による火災の原因
 - 排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因
 - ビルトインのとき、電源コード・アース線・排水ホース・給水ホースに傷を付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因
 - 交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因

-  分解禁止
- 分解したり修理・改造しない
発火したり異常動作して、火災・感電・けがの原因
・修理は、販売店へご相談ください。
-  火気禁止
- 火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけない
変形や火災の原因
-  ぬれ手禁止
- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因
-  水かけ禁止
- 水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因
-  アース線を必ず接続せよ
- アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電する原因
アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士※がD種接地工事を行う
(アース工事は、必ず販売店に依頼してください)
- 
- 電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士※が施工し、必ず専用回線を使用する
電源回路容量不足や施工不備があると、漏電・感電・火災の原因

※工場・ビル等への配置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

警告

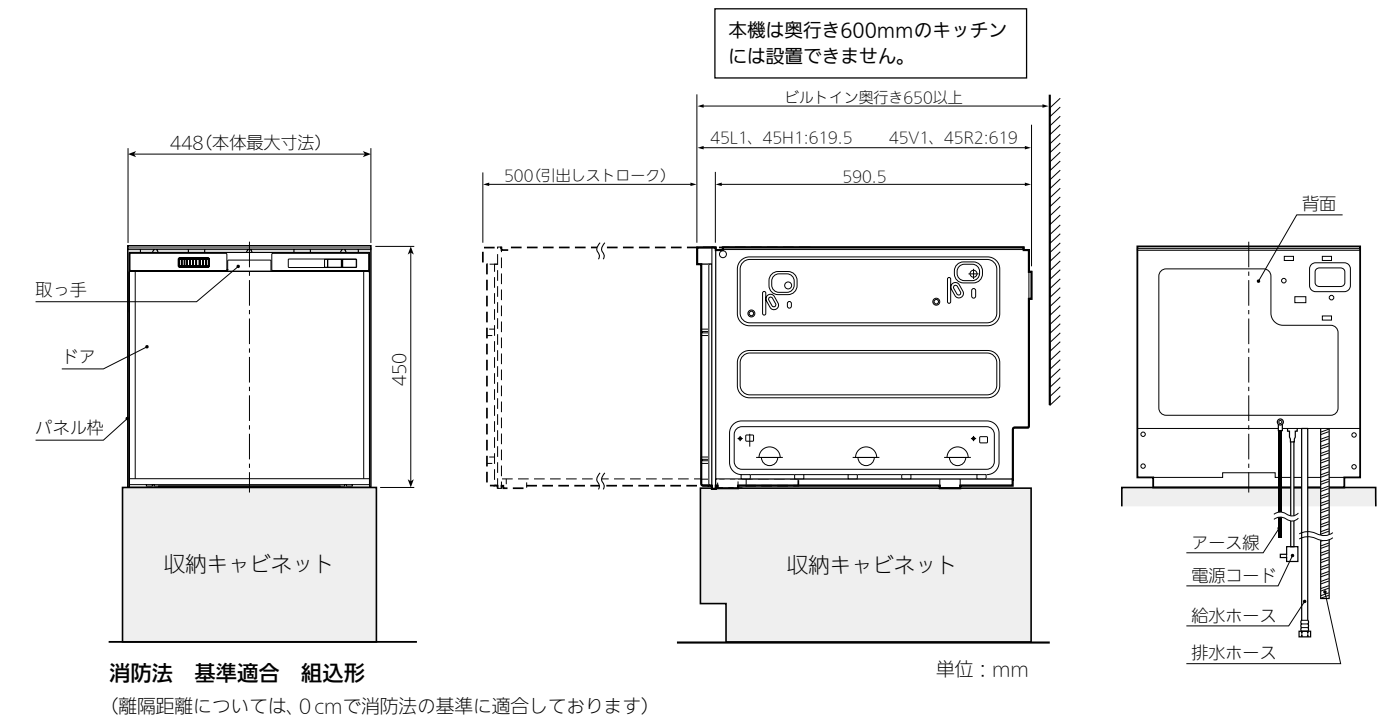
- 
- 据付けは、販売店または専門の据付業者に依頼する
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客様自身で据付けされ不備があると、水漏れや感電・火災・事故の原因
 - 定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因
 - 電源プラグは刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く
火災の原因
- 
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因
・傷んだプラグ・ゆるんだプラグは使用しないでください。
 - 電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む
上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する原因

注意

-  禁止
- 凍結のおそれがある場所(室温0℃以下)へは設置しない
水漏れの原因
 - 元止め式湯沸し器には接続しない
湯沸し器からの水漏れの原因
 - 止水栓が開いた状態のときは、本機(食器洗い乾燥機)への通電(ブレーカーなど)は切らない
本体の異常監視ができなくなる原因
・試運転終了後、本機への通電(ブレーカー)を切る場合は、必ず止水栓を閉めてください。
※引き渡しまで日数がある場合、引き渡しまで止水栓を必ず閉めてください。
止水栓を開く時は、通電してから開いてください。
 - 給水ホース・排水ホースは切断しない
水漏れの原因
- 
- 上下水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が、指定された配管材料を使用して施工する
配管破損による水漏れの原因
 - 据付け部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する
当社指定部品を使用しないと、事故の原因
 - 高水圧地域では、減圧弁を必ず取り付ける
水漏れの原因
 - 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜く
感電・ショート・発火の原因

1 各部の名称と寸法

- 本体および、かごのテープやダンボールなどは全部取り外してください。
- ※ 本説明書は、下図に示す収納キャビネットが、事前に設置されていることを前提にしております。

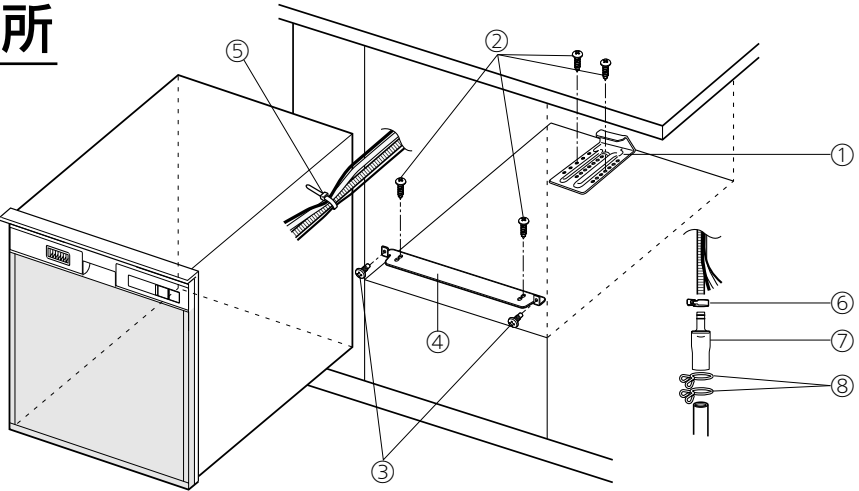


1-1：付属品の確認

据付けに必要な付属品				
① 転倒防止金具(1個)	② 固定用ネジ(4本)	③ 棒先ネジ(2本)	⑤ 結束帯(1本)	⑥ ホースバンド(小)(1個)
④ 前ズレ防止金具(1個)		⑦ 排水ジョイント(1個)		
		⑧ ホースバンド(2本)		

面材用付属品 (面材タイプのみ追加同梱)				
● 上取り付け金具 左・右(各1個)	● 下取り付け金具 左・右(各1個)	● 固定用ネジ(8本)	● 面材スペーサー※	● 高さ調整スペーサー※ (両面テープが付いています)
		● 金属用ネジ(2本)	※スリットに沿ってカッターナイフなどで切断してください。	

1-2：使用箇所



2 電気工事について

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って、電気工事士が行ってください。

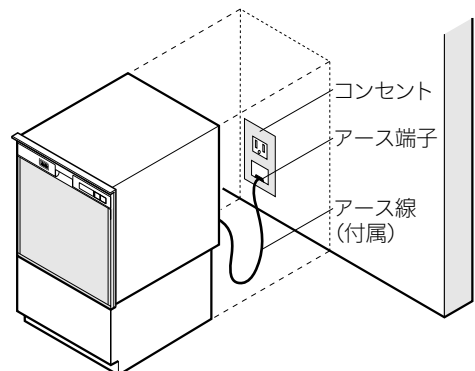
- 電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水管工事部分を避けた図の位置に埋め込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を接続します。
- コンセントは定格表示125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントを使用してください。（コンセントは壁面に必ず固定します）
- アース工事を必ず行ってください。（アースは法令上必要です）
- 200Vを使用すると、基板の電流ヒューズが切れ、使用できなくなります。無償保証できません。

アース(接地)のしかた

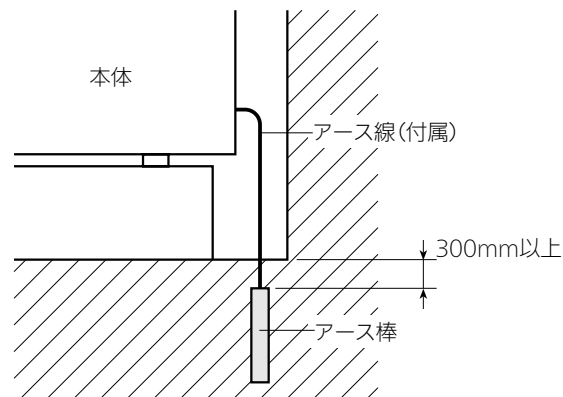
- 感電事故防止のため、必ずアースの取り付けをしてください。電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。（法令で規定されています）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しないでください。（法令で禁止されています）
- アース端子付きコンセントを利用される場合は、接地抵抗値(100Ω以下)をご確認ください。
- 設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アース取り付けを行ってください。

※ご不明な点は、販売店または電気工事店にご相談ください。

●アース端子付きコンセントを使用の場合



●アース棒を使用の場合



漏電遮断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電遮断器の設置が必要です。

※なお、主幹に漏電遮断器が設けてある場合は、漏電遮断器を設置する必要はありません。

電源回路は、食器洗い乾燥機専用回路とし、他機器との併用はしないでください。

警告



- 交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因



- アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電する原因
アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士※がD種接地工事を行う（アース工事は、必ず販売店に依頼してください）



- 定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因

- 電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士※が施工し、必ず専用回線を使用する
電源回路容量不足や施工不備があると、漏電・感電・火災の原因

※工場・ビル等への配置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

3 給・排水工事について

- 本機が使用できる水道水圧は0.03～1MPa(0.3～10kgf/cm²)の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、0.6MPa(6kgf/cm²)を超える場合は減圧弁を取り付けてください。

- 必ず、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は、水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（不具合が発生した場合、保証期間内でも無償保証できません）

- 本機は（一般財団法人）電気安全環境研究所(JET)より「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令（厚労省令）」に適合するとの証明を受けています。給水装置への接合に際し、逆止弁などの設置は必要ありません。各市町村の条例などにより、逆止弁を取り付ける場合で、本機の配管の近傍にシングルレバー水栓がある場合は、以下の対応のいずれかを実施してください。

- シングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付けてください。
- 本機の配管に減圧弁を取り付けてください。（水栓の急閉止時のウォーターハンマー現象により、逆止弁の下流側の本機や、本機の配管に異常な高水圧がかかり、本機の故障や水漏れの原因となるためです）

- 本機は配管直結タイプですので、設計及び施工工事の段階で、給・排水の位置決めを正確にしてください。
- 給湯(給水)管は、硬質塩化ビニルライニング鋼管(相当品)を使用して、断熱材を巻いてください。
- 排水横枝管に至るまでの接続部分は、耐熱塩化ビニル管(HT相当品)を使用してください。
- 配管用接着剤は、耐熱用を使用してください。
- 給・排水配管の端面は、バリが無いよう処理し、かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に取り除いてください。
- 止水栓(ハンドル形、固定ゴマタイプ)を必ず取り付けてください。

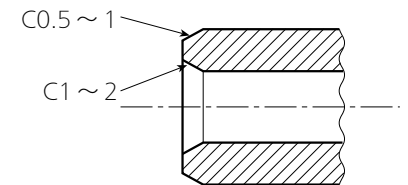
※冬季長期間留守にし、凍結が心配される地域に設置される場合は、水抜き栓を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。(図1参照)

- 排水管HT20の端面内周に、面取り(C1～2)を施してください。外径外面側は面取り(C0.5～1)を付けると、ホースの挿入が容易になります。(図2参照)

図1



図2



お願い

- 元付け型の浄水器に接続しない
元付け型の浄水器に接続すると、残留塩素濃度が0.1ppm未満(水道法基準は0.1ppm以上と規定されている)となり屋内に給水される水が細菌などに汚染される(バクテリアが繁殖)おそれがあります。（不具合が発生した場合、保証期間内でも無償保証できません）

給湯機について

- 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機などで、60℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。調整不可能な給湯機の場合は、温度調節器(ミキシングバルブ)の接続をしてください。
- 小型深夜電力利用温水器には、接続しないでください。本機へ給水されないおそれがあります。

注意



- 元止め式湯沸し器には接続しない
湯沸し器からの水漏れの原因

4 据付け場所と据付け手順の確認

据付け場所により、決められた手順に従って据付けを行ってください。

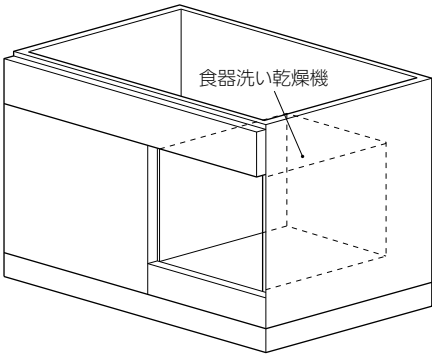
A. シンク下に据付け(ホーロー製)

P.9～12を参照し、据付ける

B. シンク下に据付け(木製)

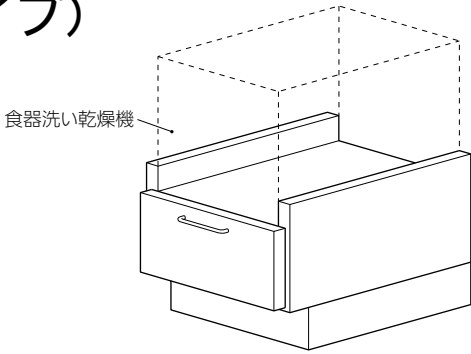
P.13～16を参照し、据付ける

※右図は食器洗い乾燥機を右側に組み込む場合を示します。
左側に組み込む場合、右図とは対象になります。



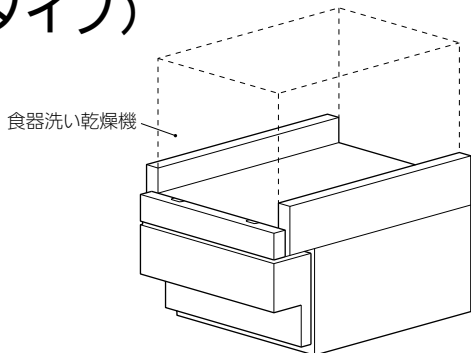
C. シンク横に据付け(扉スライドタイプ)

P.17～19を参照し、据付ける



D. シンク横に据付け(足元スライドタイプ)

P.20～23を参照し、据付ける

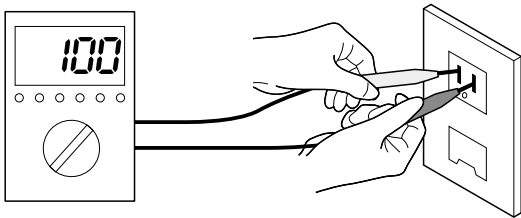


お願い

- 本機及びキッチンの金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板に、電氣的に接触しないようにしてください。
法令により義務づけられています。

5 電圧の確認

電圧が100Vであることを確認する
※200V電源を使用すると、瞬時に故障します。



6 据付け手順

ホーロー製

A. シンク下に据付け(ホーロー製)

1.据付け前の確認

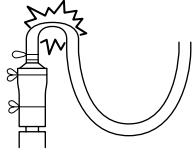
■コンセント位置の確認
所定の位置に125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントがあることを確認してください。

■給湯(水)管位置の確認
水栓への給湯(水)管より分岐します。
(食器洗い乾燥機専用の給湯(水)管は不要です)

■排水管位置の確認
所定の位置に排水管があることを確認してください。

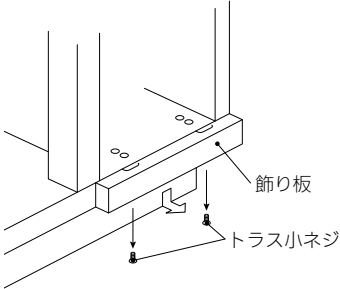
お願い

●排水管の先端を上向きにしない
排水ホースが折れ曲がり、排水不良、機器の故障の原因



2.飾り板の取り外し

●シンクキャビネットの飾り板を取り外してください。また食器洗い乾燥機組み込み後、元に戻しますのでネジはなくさないようにしてください。
※飾り板を取り外さずに食器洗い乾燥機を組み込むと、飾り板を損傷するおそれがあります。
※飾り板は別途手配となっている場合もあります。その場合は、部品が手配されているかご確認ください。



3.据付け

① 転倒防止金具、前ズレ防止金具の取り付け

●転倒防止金具と前ズレ防止金具(同梱)を使い、各2本のネジ(同梱)で収納キャビネットに取り付けてください。このとき、電動ドライバーは使用せず、手で締めてください。
(ネジ山がつぶれて、締まらなくなるおそれがあります)

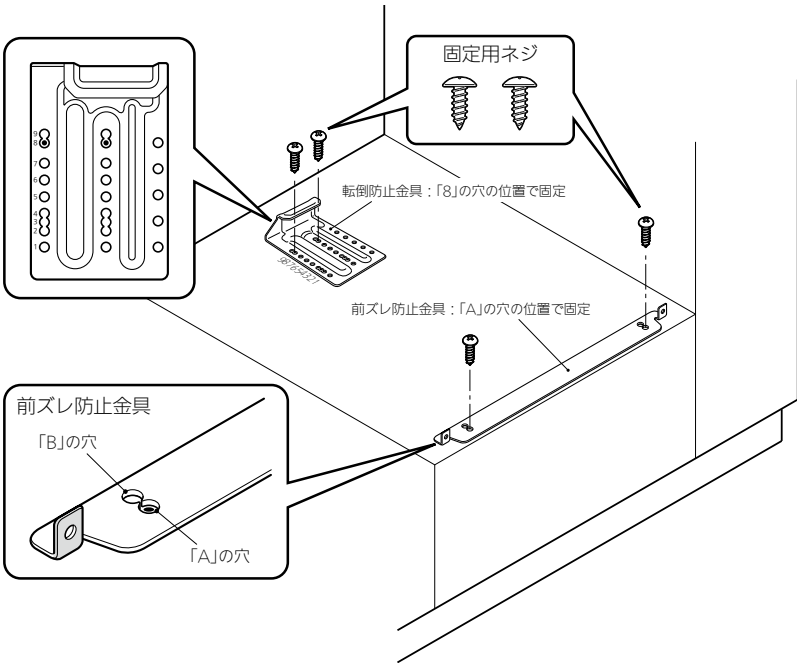
●固定用ネジ(同梱)4本使ってください。

●転倒防止金具は「8」の穴の位置でネジを固定してください。

●前ズレ防止金具は「A」の穴の位置でネジを固定してください。

お願い

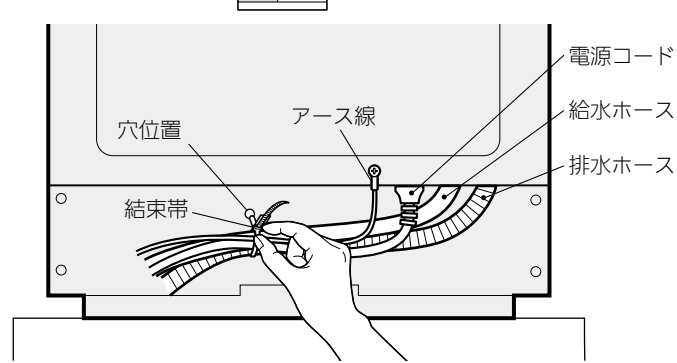
●必ず転倒防止金具を取り付ける
開いたドアを押さえたときに、製品が転倒する原因



② ホース、コード類を束ねる

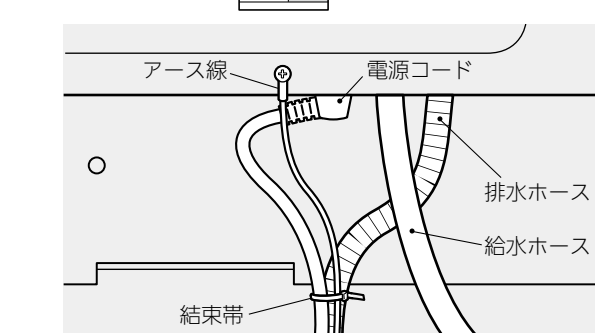
※本体をビルトインする時に作業をしやすくするため、また電源コード・アース線が転倒防止金具に挟み込まないようにするため、必ず行ってください。
※食器洗い乾燥機の設置位置によりホース・コード類の束ね処理が異なります。

〈左設置の場合〉



※付属の結束帯で、電源コード・アース線・給水ホース・排水ホースを束ねて、束ねた結束帯を穴に差し込んでください。

〈右設置の場合〉

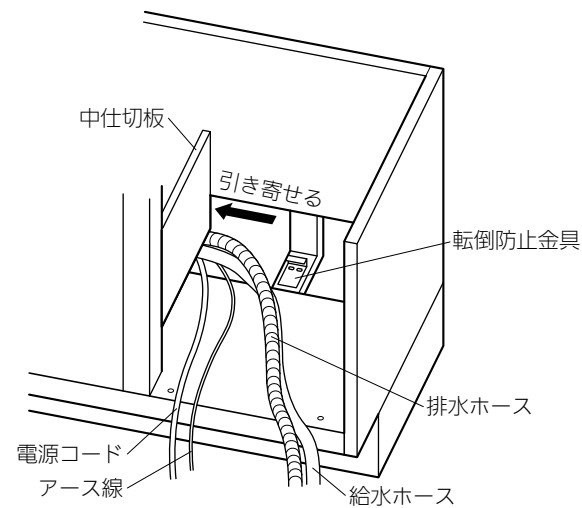


※アース線・電源コード・排水ホースを図のように付属の結束帯で束ねてください。(結束帯は穴に差し込まない)

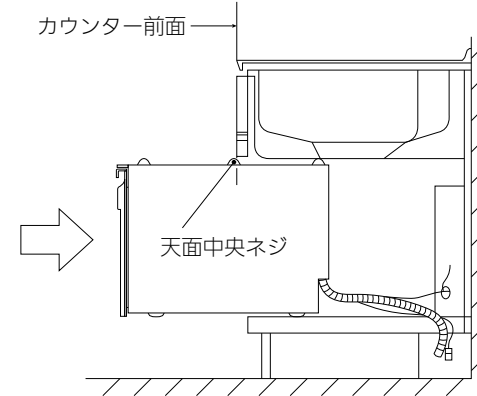
③ 本体のビルトインと排水ジョイントの接続

給水ホース・排水ホース・電源コード・アース線を全て中仕切板の下を通して引き寄せてください。

注) 食器洗い乾燥機を押し込む時、排水ホースが折れる、または電源コード・アース線等が転倒防止金具にかみ込むのを防止するため、これらを少しずつ引き寄せながら組込み作業を行ってください。



①食器洗い乾燥機を両手で持ち上げ、シンクキャビネット底面に後脚を載せた状態で、ゆっくり押し込み、カウンター前面と食器洗い乾燥機天面中央ネジ部が同一線上のところで、いったん給水ホース・排水ホース・電源コード・アース線を引き寄せてください。

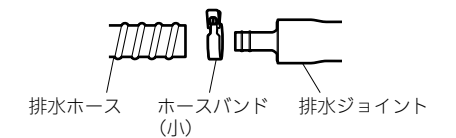
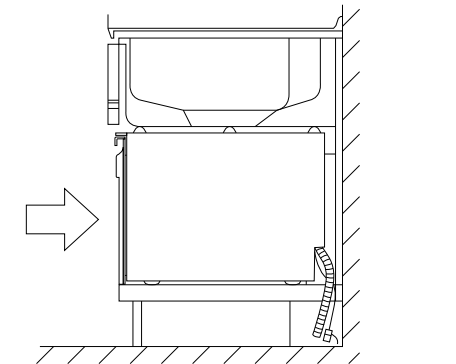
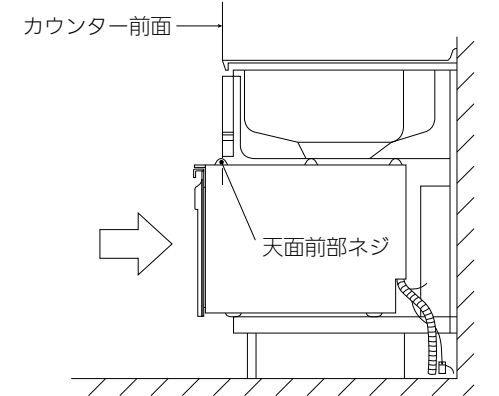


③最後まで押し込み、再度引き寄せてください。
※ホース、コード類の引き込みがスムーズでない場合は、挟み込みのおそれがありますので、もう一度やり直してください。

④排水ホースに排水ジョイントを奥いっぱいまで挿入し、ホースバンド(小)で止めてください。

⑤「2.飾り板の取り外し」で取り外した飾り板を取り付けてください。

②さらに食器洗い乾燥機をゆっくり押し込み、カウンター前面と食器洗い乾燥機天面前部ネジ部が同一線上のところで①同様に引き寄せてください。



警告



禁止

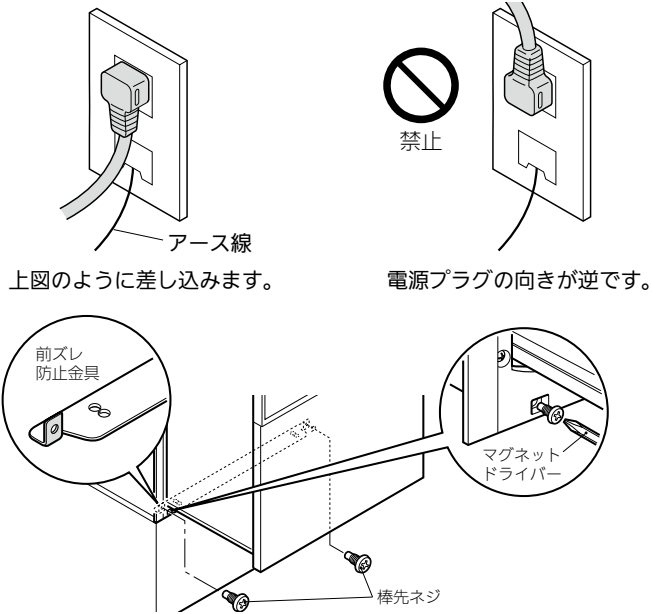
●排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因



禁止

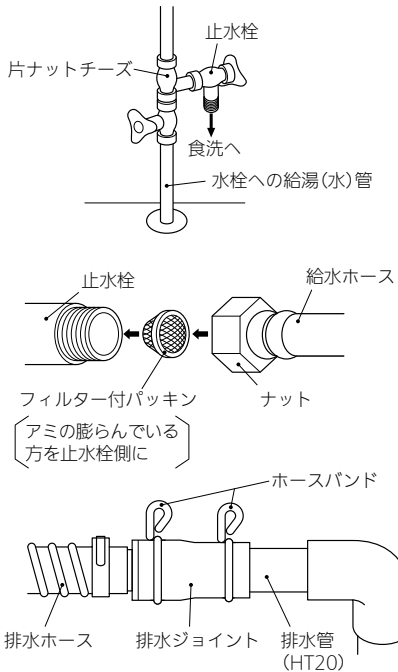
●ビルトインのとき、電源コード・アース線・排水ホース・給水ホースに傷を付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因

- 4 電源コード・アース線の接続**
- 埋め込みコンセントに電源プラグを差し込みます。
※200V電源に差し込むと、瞬時に故障します。
 - アース線をアースターミナルに接続します。
※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。(法令等で禁止されています)



- 5 本体をキャビネット内に設置した後、ドアを半分位引出して本体とキャビネットを棒先ネジ2本でネジ止めしてください。**
(ネジ止めにはマグネットドライバーを使用して、本体下部の左右にある角穴より棒先ネジ2本で固定します)

- 6 給湯(水)管・排水管との接続**
- ①片ナットチーズと止水栓を使用して水栓への給湯(水)管を分岐してください。
※食器洗い乾燥機専用の止水栓を必ず設置してください。
- ②止水栓にフィルター付パッキンを入れ、給水ホースを確実に接続してください。(フィルター付パッキンは給水ホースにテープ止めされています)
※給水ホースのナットは手で軽く締め込んだ後、半回転くらい締め付けてください。
適正締め付けトルクは5~10N・m(50~100kgf/cm²)です。
- ③排水管に排水ジョイントを接続し、ホースバンドで止めてください。
※排水ホースに折れやねじれがないことを確認してください。
※接着剤使用禁止(保守時本体が取り外せない)



警告

 禁止	●電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない 感電・漏電や火災の原因	 禁止	●コンセントを床面に転がして、電源プラグを差し込み使用しない 感電・漏電や火災の原因
 !	●電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む 上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する原因	 アース線を必ず接続せよ	●アースを確実に取り付ける 故障や漏電のときに感電する原因 アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士※がD種接地工事を行う (アース工事は、必ず販売店に依頼してください) ※工場・ビル等への配置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

注意

- 
禁止
- 給水ホース・排水ホースは切断しない
水漏れの原因

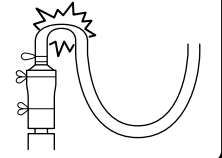
B. シンク下に据付け(木製)

1.据付け前の確認

- コンセント位置の確認
所定の位置に125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントがあることを確認してください。
- 給湯(水)管位置の確認
水栓への給湯(水)管より分岐します。
(食器洗い乾燥機専用の給湯(水)管は不要です)
- 排水管位置の確認
所定の位置に排水管があることを確認してください。

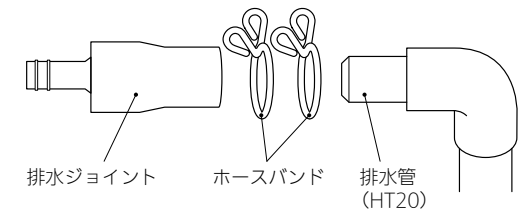
お願い

- 排水管の先端を上向きにしない
排水ホースが折れ曲がり、排水不良、機器の故障の原因



2.排水ジョイントの接続

- キャビネット設置前に排水ジョイントを食器洗い乾燥機用排水管に接続し、ホースバンドで止めてください。
※接着剤使用禁止(保守時本体が取り外せない)



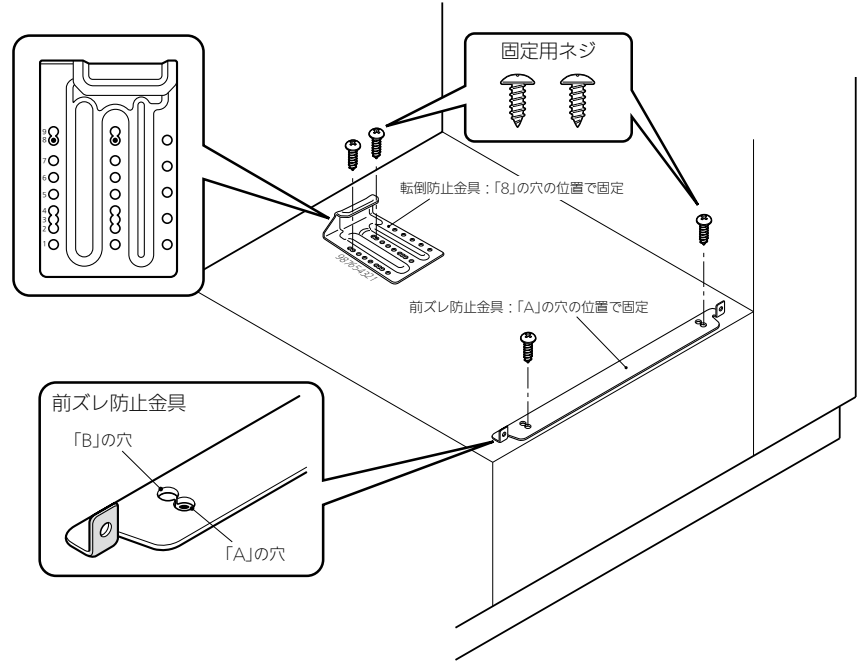
3.据付け

① 転倒防止金具、前ズレ防止金具の取り付け

- 転倒防止金具と前ズレ防止金具(同梱)を使い、各2本のネジ(同梱)で収納キャビネットに取り付けてください。このとき、電動ドライバーは使用せず、手で締めてください。
(ネジ山がつぶれて、締まらなくなるおそれがあります)
- 固定用ネジ(同梱)4本使ってください。
- 転倒防止金具は「8」の穴の位置でネジを固定してください。
- 前ズレ防止金具は「A」の穴の位置でネジを固定してください。

お願い

- 必ず転倒防止金具を取り付ける
開いたドアを押さえたときに、製品が転倒する原因

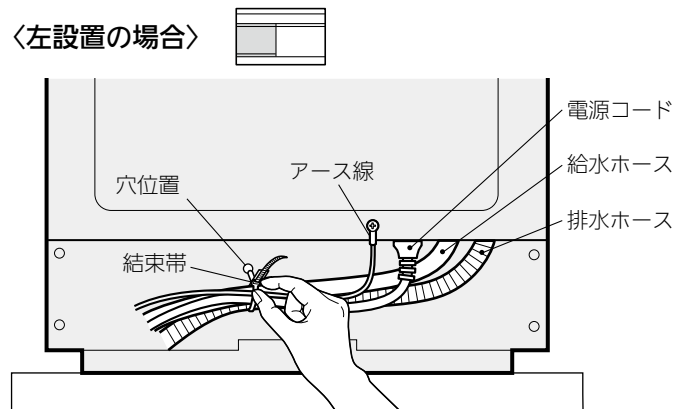


2 ホース、コード類を束ねる

※本体をビルトインする時に作業をしやすくするため、また電源コード・アース線が転倒防止金具に挟み込まないようにするため、必ず行ってください。

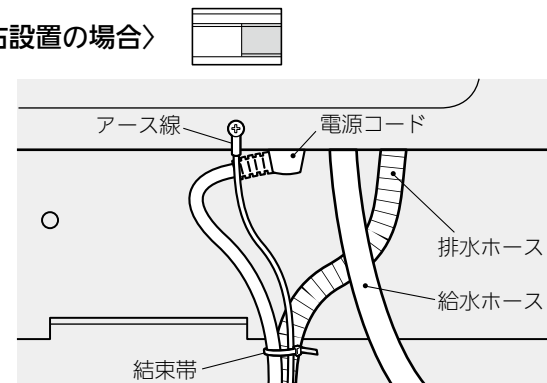
※食器洗い乾燥機の設置位置によりホース・コード類の束ね処理が異なります。

〈左設置の場合〉



※付属の結束帯で、電源コード・アース線・給水ホース・排水ホースを束ねて、束ねた結束帯を穴に差し込んでください。

〈右設置の場合〉



※アース線・電源コード・排水ホースを図のように付属の結束帯で束ねてください。(結束帯は穴に差し込まない)

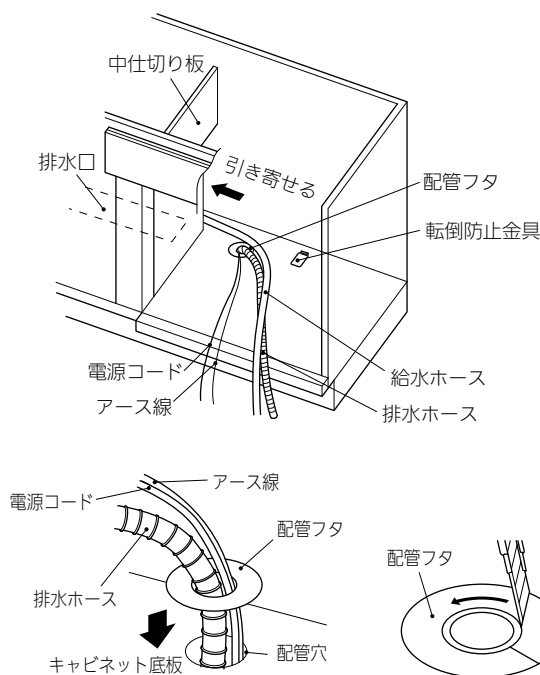
3 本体のビルトインと排水ジョイントの接続

①排水ホース・電源コード・アース線を底板配管穴に通し、底板排水口より引き寄せてください。

②キャビネットに付属の配管フタを、裏面の溝に沿ってカッター等で穴を大きく加工してください。

③配管穴に通した排水ホース・電源コード・アース線に配管フタを取り付け、底板に貼り付けてください。

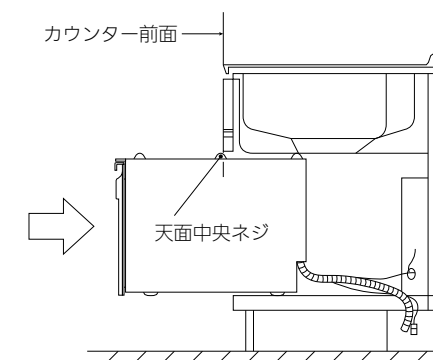
④給水ホースを中仕切板の切り欠き部に通し、引き寄せてください。



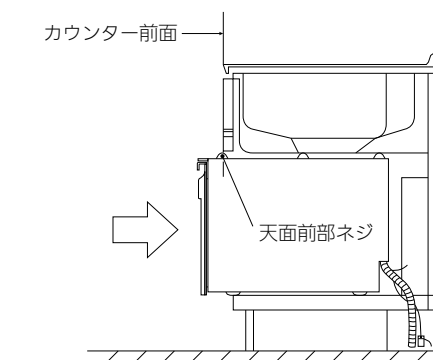
お願い

- 本体をキャビネットに一気に押し込まない
ホース類が折れたり、転倒防止金具に挟み込む原因

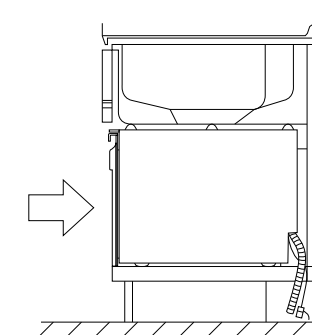
⑤食器洗い乾燥機を両手で持ち上げ、シンクキャビネット底面に後脚を載せた状態で、ゆっくり押し込み、カウンター前面と食器洗い乾燥機天面中央ネジ部が同一線上のところで、いったん給水ホース・排水ホース・電源コード・アース線を引き寄せてください。



⑥さらに食器洗い乾燥機をゆっくり押し込み、カウンター前面と食器洗い乾燥機天面前部ネジ部が同一線上のところで⑤同様に引き寄せてください。



⑦最後まで押し込み、再度引き寄せてください。
※ホース・コード類の引き込みがスムーズでない場合は、挟み込みのおそれがありますので、もう一度やり直してください。



警告



禁止

- 排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因

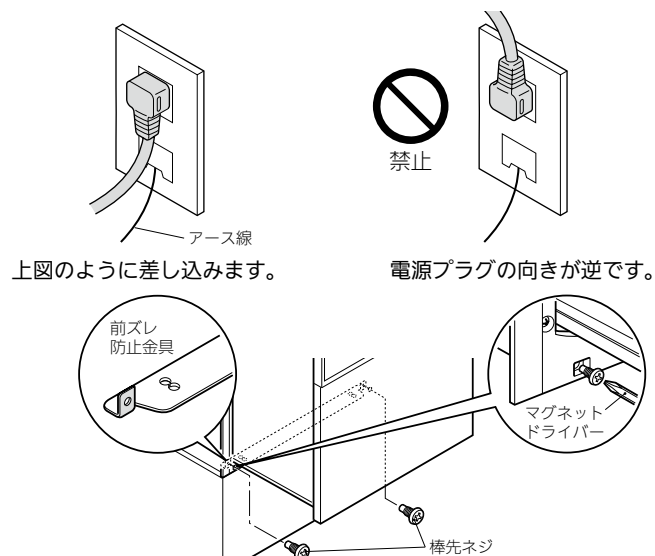


禁止

- ビルトインのとき、電源コード・アース線・排水ホース・給水ホースに傷を付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因

4 電源コード・アース線の接続

- 埋め込みコンセントに電源プラグを差し込みます。
※200V電源に差し込むと、瞬時に故障します。
- アース線をアースターミナルに接続します。
※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。(法令等で禁止されています)



5 本体をキャビネット内に設置した後、ドアを半分位引出して本体とキャビネットを棒先ネジ2本でネジ止めしてください。

(ネジ止めにはマグネットドライバーを使用して、本体下部の左右にある角穴より棒先ネジ2本で固定します)

6 給湯(水)管・排水管との接続

①片ナットチーズと止水栓を使用して水栓への給湯(水)管を分岐してください。

※食器洗い乾燥機専用の止水栓を必ず設置してください。

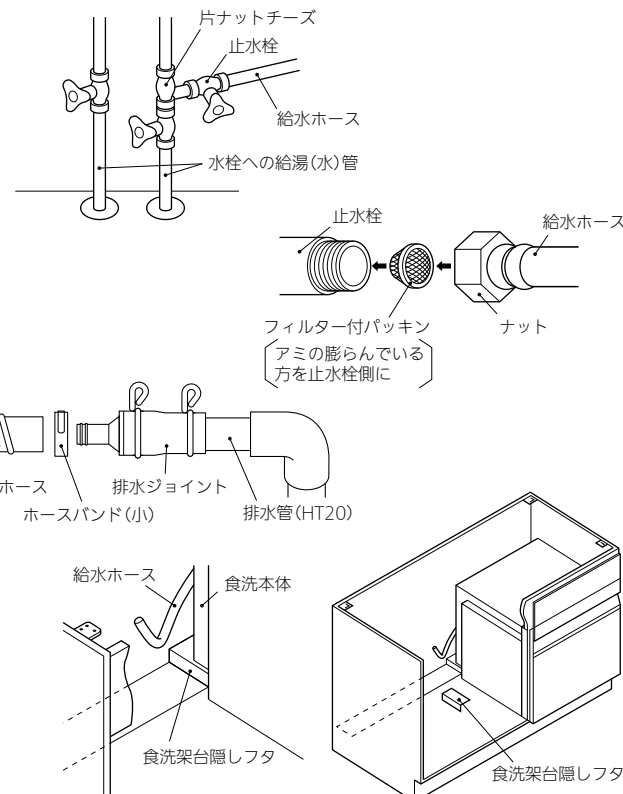
②止水栓にフィルター付パッキンを入れ、給水ホースを確実に接続してください。(フィルター付パッキンは給水ホースにテープ止めされています)

※給水ホースのナットは手で軽く締め込んだ後、半回転くらい締め付けてください。
適正締め付けトルクは5～10N・m(50～100kgf/cm²)です。

③排水ジョイントに排水ホースを接続し、ホースバンド(小)で止めてください。

※排水ホースに折れやねじれがないことを確認してください。

※接着剤使用禁止(保守時本体が取り外せない)



7 据付け後の作業

- シンクキャビネットの収納側からキャビネットに付属の架台隠しフタを取り付けてください。
※取り付けは食器洗い乾燥機本体と架台の間に差し込むように行ってください。

警告



禁止

- 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない
感電・漏電や火災の原因



禁止

- コンセントを床面に転がして、電源プラグを差し込み使用しない
感電・漏電や火災の原因



- 電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む
上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する原因



アース線を必ず接続せよ

- アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電する原因
アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士*がD種接地工事を行う
(アース工事は、必ず販売店に依頼してください)

※工場・ビル等への配置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

注意



禁止

- 給水ホース・排水ホースは切断しない
水漏れの原因

C. シンク横に据付け(扉・スライドタイプ)

1.据付け前の確認

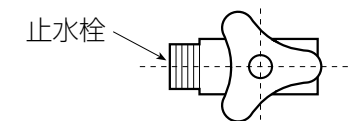
■コンセント位置の確認

所定の位置に125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントがあることを確認してください。

■給湯(水)管・排水管位置の確認

所定の位置に排水管があることを確認してください。下記配管例以外の施工をする場合は販売店へご相談ください。

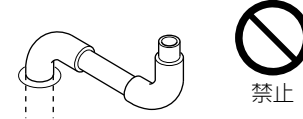
※アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)を必ず取り付けてください。
(出口は床面と平行になるようにしてください)



お願い

- 排水管の先端を上向きにしない
排水ホースが折れ曲がり、排水不良、機器の故障の原因

床立上げの場合



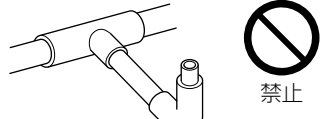
禁止

壁出しの場合



禁止

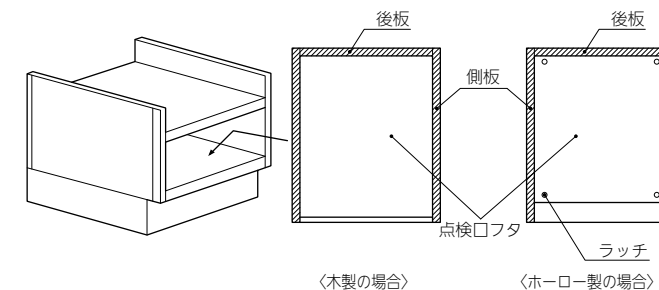
床ころがしの場合



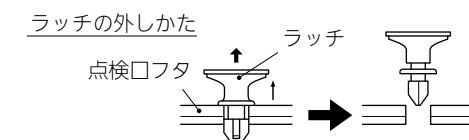
禁止

2.点検口フタの取り外し

- 引き出しを取り外し、キャビネット底面の点検口フタを取り外してください。



キャビネット底面図

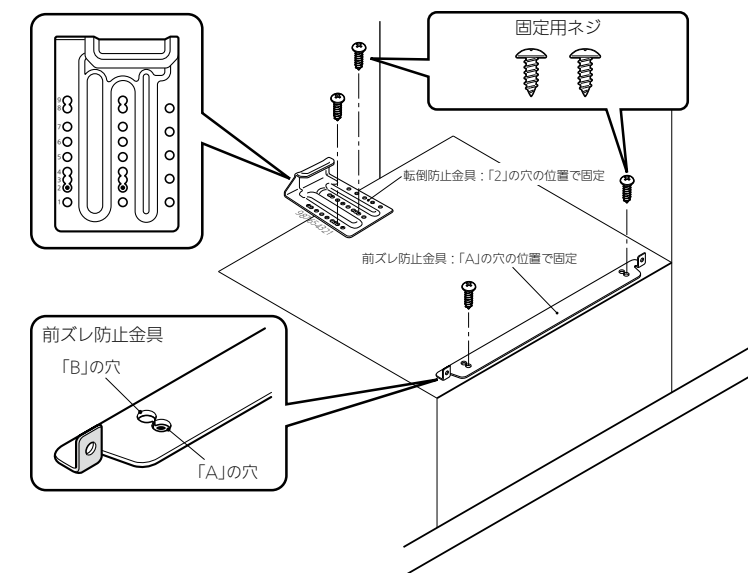


ラッチは頭部を手前にひっぱると外れます。

3.据付け

① 転倒防止金具、前ズレ防止金具の取り付け

- 転倒防止金具と前ズレ防止金具(同梱)を使い、各2本のネジ(同梱)で収納キャビネットに取り付けてください。このとき、電動ドライバーは使用せず、手で締めてください。
(ネジ山がつぶれて、締まらなくなるおそれがあります。)
- 固定用ネジ(同梱)4本使ってください。
- 転倒防止金具は「2」の穴の位置でネジを固定してください。
- 前ズレ防止金具は「A」の穴の位置でネジを固定してください。



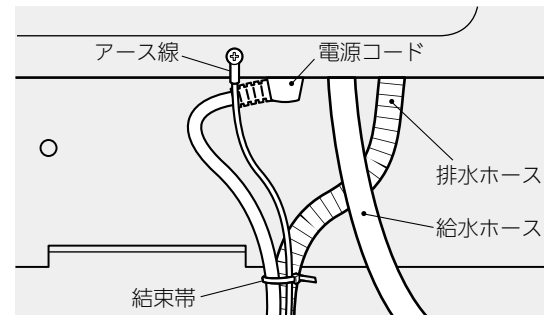
お願い

- 必ず転倒防止金具を取り付ける
開いたドアを押さえたときに、製品が転倒する原因



2 ホース、コード類を束ねる

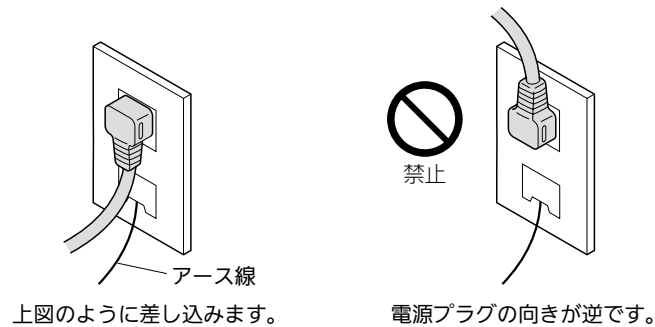
※本体をビルトインする時に作業をしやすくするため、また電源コード・アース線が転倒防止金具に挟み込まないようにするため、必ず行ってください。



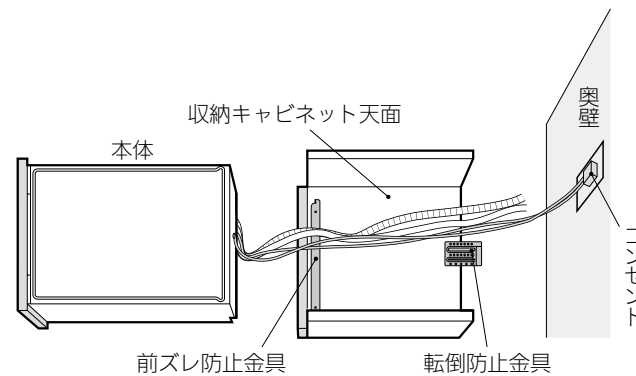
※アース線・電源コード・排水ホースを図のように付属の結束帯で束ねてください。(結束帯は穴に差し込まない)

3 電源コード・アース線の接続

- 埋め込みコンセントに電源プラグを差し込みます。
※200V電源に差し込むと、瞬時に故障します。



- アース線をアースターミナルに接続します。
※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。(法令等で禁止されています)



警告



禁止

- 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない
感電・漏電や火災の原因



禁止

- コンセントを床面に転がして、電源プラグを差し込み使用しない
感電・漏電や火災の原因



- 電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込む
上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する原因



アース線を必ず接続せよ

- アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電する原因
アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って第二種電気工事士※が行う
(アース工事は、必ず販売店に依頼してください)
※工場・ビル等への配置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

4 本体のビルトイン

- ①本体の後脚を収納キャビネットに載せ、前に傾けた状態で、給水ホースと排水ホースを下に押し込んでください。
※排水ホースの先端を切って長さを調節しないでください。

- ②本体前面左右のフランジ部(樹脂製)が収納キャビネットの側板の前面木口にあたるまで、本体を押し込んでください。
※隣接する機器等に注意し、本体中央をゆっくり押しビルトインしてください。

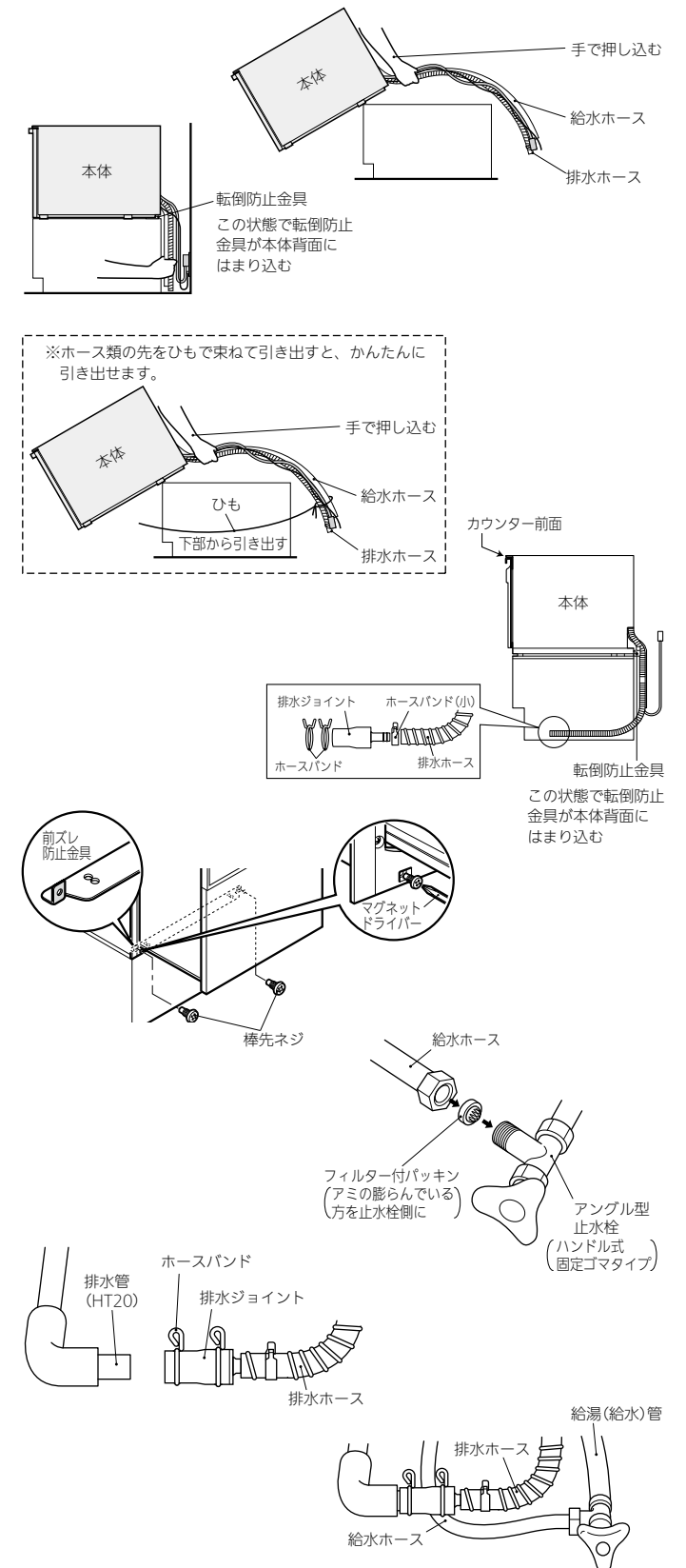
- ③排水ホースに排水ジョイント(同梱)を奥いっぱいまで挿入し、ホースバンド(小)で止めてください。

- ⑤本体をキャビネット内に設置した後、ドアを半分位引出して本体とキャビネットを棒先ネジ2本でネジ止めしてください。
(ネジ止めにはマグネットドライバーを使用して、本体下部の左右にある角穴より棒先ネジ2本で固定します)

6 給湯(水)管・排水管との接続

- ①アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)にフィルター付パッキンを入れ、給水ホースを確実に接続してください。(フィルター付パッキンは給水ホースにテープ止めされています)
※ナットは手で軽く締め込んだ後、半回転くらい締め付けてください。適正締め付けトルクは5~10N・m(50~100kgf/cm²)です。

- ②排水管(HT20)に排水ジョイントを接続し、ホースバンドで止めてください。
このとき、排水ホースは給湯(給水管)や、給水ホースの上を通るようにしてください。
※排水ホースに折れやねじれがないことを確認してください。
※接着剤使用禁止(保守時本体が取り外せない)



警告



禁止

- 排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷付け
感電・漏電・火災や水漏れの原因
- ビルトインのとき、電源コード・アース線・排水ホース・給水ホースに傷を付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因

注意



禁止

- 給水ホース・排水ホースは切断しない
水漏れの原因

D. シンク横に据付け(足元スライドタイプ)

1. 据付け前の確認

■コンセント位置の確認

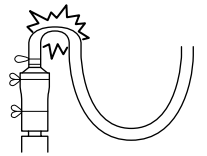
所定の位置に125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントがあることを確認してください。

■給湯(水)管・排水管位置の確認

所定の位置に排水管があることを確認してください。下記配管例以外の施工をする場合は、販売店へご相談ください。

お願い

- 排水管の先端を上向きにしない
排水ホースが折れ曲がり、排水不良、機器の故障の原因



2. 引き出し、飾り板、作業口フタの取り外し

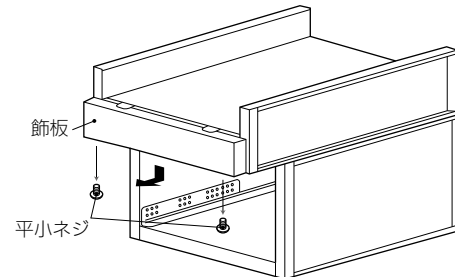
①引き出しを取り外してください。

②飾り板を取り外してください。

(ホーロー製キャビネットの場合のみ)

※飾り板を取り外さずに食器洗い乾燥機を組み込むと
飾り板を損傷するおそれがあります。

③キャビネット後部にある作業口フタを取り外してください。(木製キャビネットの場合のみ)

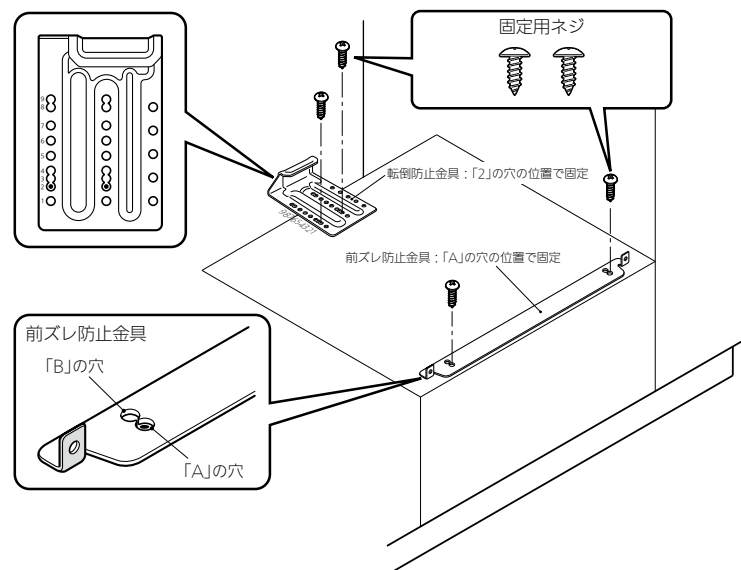


(ホーロー製キャビネットの場合)

3. 据付け

① 転倒防止金具、前ズレ防止金具の取り付け

- 転倒防止金具と前ズレ防止金具(同梱)を使い、各2本のネジ(同梱)で収納キャビネットに取り付けてください。このとき、**電動ドライバーは使用せず、手で締めてください。**
(ネジ山がつぶれて、締まらなくなるおそれがあります)
- 固定用ネジ(同梱)4本使ってください。
- 転倒防止金具は「2」の穴の位置でネジを固定してください。
- 前ズレ防止金具は「A」の穴の位置でネジを固定してください。



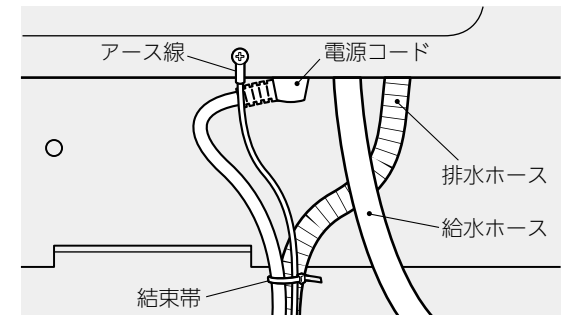
お願い

- 必ず転倒防止金具を取り付ける
開いたドアを押さえたときに、
製品が転倒する原因



② ホース、コード類を束ねる

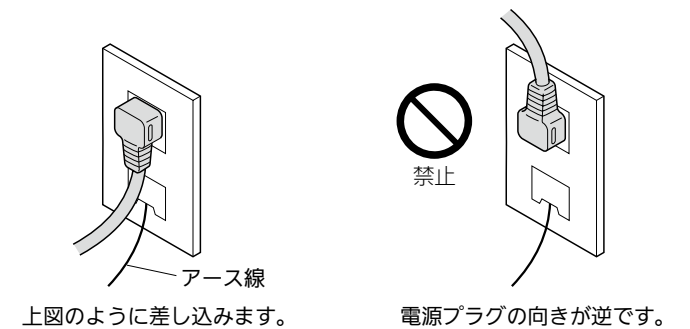
※本体をビルトインする時に作業をしやすく
するため、また電源コード・アース線が転倒
防止金具に挟み込まないようにするため、
必ず行ってください。



※アース線・電源コード・排水ホースを図のように
付属の結束帯で束ねてください。
(結束帯は穴に差し込まない)

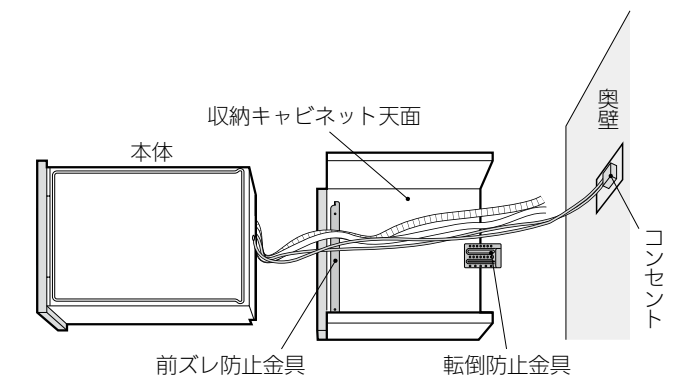
③ 電源コード・アース線の接続

- 埋め込みコンセントに電源プラグを差し込みます。
※200V電源に差し込むと、瞬時に故障します。



- アース線をアースターミナルに接続します。

※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、
絶対に接続しないでください。(法令等で禁止
されています)



警告



- 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない
感電・漏電や火災の原因



- 電源プラグはコードが下方向に出るよう、
コンセントに奥まで確実に差し込む
上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、
異常発熱して発火する原因



- コンセントを床面に転がして、電源プラグを
差し込み使用しない
感電・漏電や火災の原因



- アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電する原因
アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」
および「内線規程」に従って第二種電気工事士※が
D種接地工事を行う
(アース工事は、必ず販売店に依頼してください)
※工場・ビル等への配置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

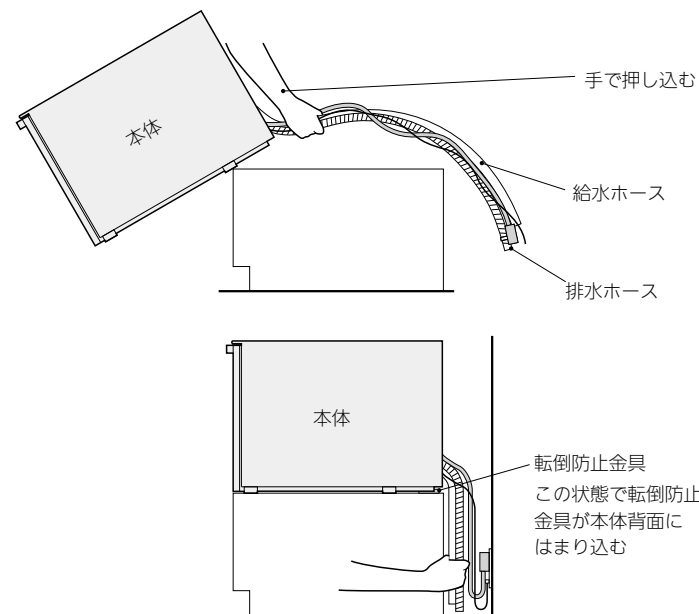
4 本体のビルトイン

- ①本体の後脚を収納キャビネットに載せ、前に傾けた状態で、給水ホースと排水ホースを下に押し込んでください。

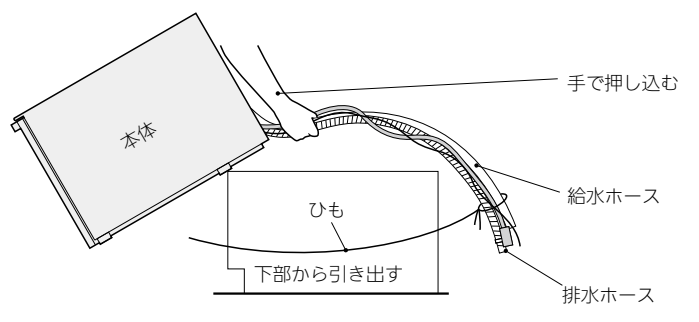
※排水ホースの先端を切って長さを調節しないでください。

- ②本体前面左右のフランジ部(樹脂製)が収納キャビネットの側板の前面木口にあたるまで、本体を押し込む。

※隣接する機器等に注意し、本体中央をゆっくり押しビルトインしてください。



※ホース類の先をひもで束ねて引き出すと、かんたんに引き出せます。



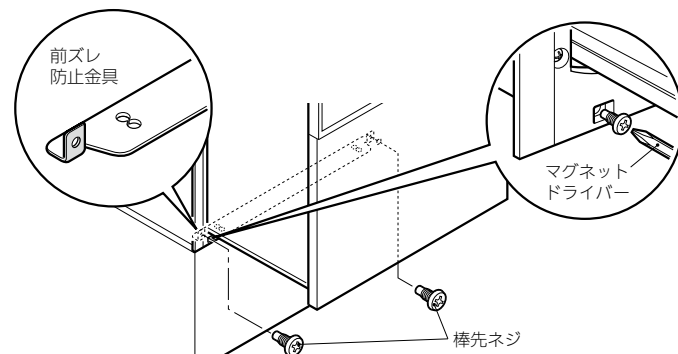
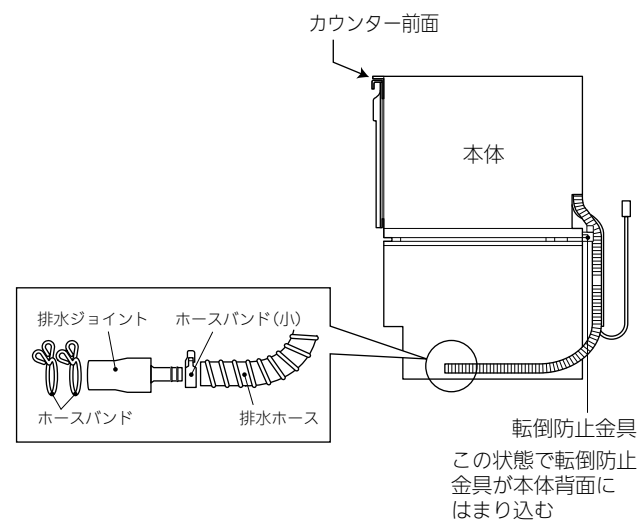
- ③排水ホースに排水ジョイント(同梱)を奥いっぱいまで挿入し、ホースバンド(小)で止めてください。

警告



禁止

- 排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因
- ビルトインのとき、電源コード・アース線・排水ホース・給水ホースに傷を付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因

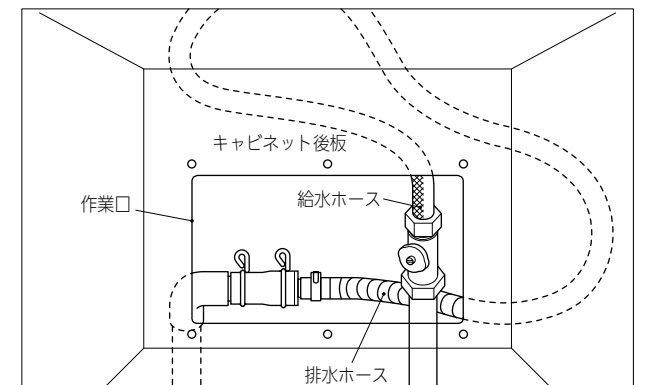
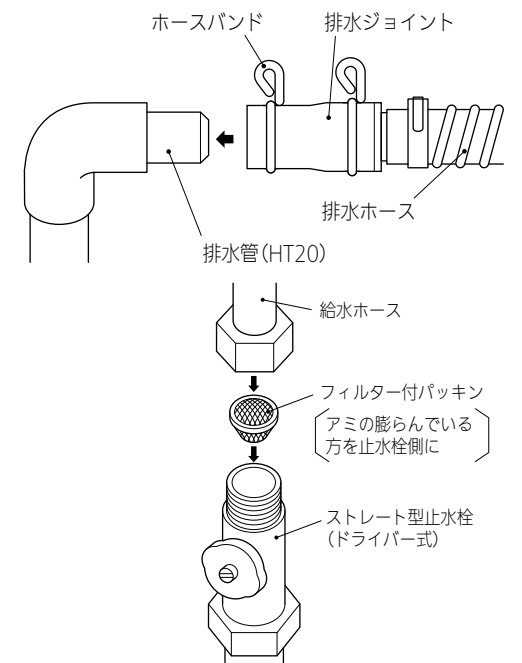


6 給湯(水)管・排水管との接続

- ①キャビネット内に引き込んだ給水ホース・排水ホースをキャビネットと後壁面との間に押し戻してください。

- ②排水管に排水ジョイントを接続し、ホースバンドで止めてください。
※排水ホースに折れやねじれがないことを確認してください。
※接着剤使用禁止(保守時本体が取り外せない)

- ③フィルター付パッキンを止水栓に入れ、給水ホースを接続してください。
(フィルター付パッキンは給水ホースにテープ止めされています)



注意



禁止

- 給水ホース・排水ホースは切断しない
水漏れの原因

6 据付け手順 (つづき)

パネル(化粧板)／面材の取り付け

※機種形式により、パネル(化粧板)または面材を取り付けてください。
※電動ドライバーを使用せず、手で締めてください。

パネル(化粧板)の取り付け

1 ドアを少し引き出す

2 パネル枠下取り付けネジ(3本)を外して、パネル枠下を外す

3 パネル枠側(左右)取り付けネジ(各2本)を緩める

4 パネルをパネル枠上の溝に挿入して、パネル枠側(左右)の取り付けネジを締め付ける

5 パネル枠下を取り付ける

操作パネル
パネル
パネル枠上
取り付けネジ(各2本)
パネル枠側(左右)
パネル枠下
取り付けネジ(各3本)
取り付けネジ(各2本)

面材の取り付け(EW-45L1SMTA, EW-45V1SMT, EW-45R2SMTの場合) ●面材は別売部品です。

1 面材取り付け金具を同梱の固定用ネジ(8本)で面材の下穴に合わせて固定する

●金具は面材スペーサーを介して取り付けてください。

●金具は面材の端面と平行になるように取り付けてください。

●金具に開けられた穴は長穴になっています。標準穴位置は長穴の中央ですが、取り付け具合により調整を行ってください。

2 面材の上側を先に、下側を後でドアにはめ込む

3 ドアを少し引き出した後、面材を上へ押し上げた状態で左右の穴から⓪ドライバーで面材が傾かないように金属用ネジ2本(同梱)で締め付ける

上
下
面材スペーサー
上取り付け金具右
取り付け金具
面材(裏)
上
下
ホーロー面材穴(穴有りが下側)
下取り付け金具右
下取り付け金具左
操作パネル
穴
サイドカバー
金属用ネジ
⓪ドライバー
ホーロー面材穴(穴有りが下側)

取り付けのポイント

状況	対処方法
●操作パネルと面材に隙間が開く	●下取り付け金具をなるべく下側に取り付け直す(金具の長穴を使って)
●操作パネルと面材に斜めの隙間が開く	●上下の取り付け金具が面材の端面と平行に取り付けられていない ※平行になるように取り付け直す
●面材の上側にガタがある	●上取り付け金具をなるべく上側に取り付け直す(金具の長穴を使って)
●取り付け状態(隙間、曲がり)を確認してから、取り付け金具のネジを本締めする	

面材の取り付け (つづき)

キャビネット据付け後に調整が必要な場合、下記を行ってください。

1 キッチンのドアと面材が揃っているかを確認する

●面材上部及び下部が奥まっている場合は、「面材スペーサー」で下図のように調整を行ってください。

下取り付け金具の面材スペーサー使用枚数は、1箇所3枚まで。

※上取り付け金具には使用しないでください。

※面材下部が奥まっている場合は、取り付け金具の長穴(A部)で出代調整も行えます。

面材(裏)
ホーロー面材穴(穴有りが下側)
面材スペーサー
取り付け金具
下取り付け金具右
A部
上
下
下取り付け金具左
A部
(食洗機)
上面
下面

2 取り付けした面材の下端と、隣接するキャビネットのドア下端が合っているか確認する

●面材の高さが低い場合および奥行き調整が1だけではできない場合は、「高さ調整スペーサー」で下図のように調整を行ってください。

2-1 : ドアを半分程度引き出して、本体とキャビネットをネジ止めした棒先ネジ2本を外す

2-2 : キャビネット内に設置した本体を、1/4くらい引き出す(図1参照)
※本体の底面にある、脚が現れるまで引き出してください。

2-3 : 本体の底面にある、左右それぞれの脚に「高さ調整スペーサー」を貼り付ける(図2参照)
※高さ調整スペーサーの厚さは1mmです。

2-4 : 再び、本体をキャビネット内に設置する(図3参照)

警告

●排水ホース・給水ホース・電源コード・アース線を転倒防止金具・本体の底面や脚との間に挟み込んで傷付けない
感電・漏電・火災や水漏れの原因

2-5 : 本体をキャビネット内に設置した後、ドアを半分程度引き出して、本体とキャビネットを棒先ネジ2本でネジ止めする

高さ調整スペーサー
(図1)
(図2)
(図3)

24

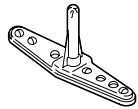
25

7 部品取り付け方法

回転タワーノズル、残さいフィルター、小物入れ、下かご、上かごを定位置に取り付ける

EW-45L1シリーズ・EW-45H1シリーズ・EW-45V1シリーズの場合

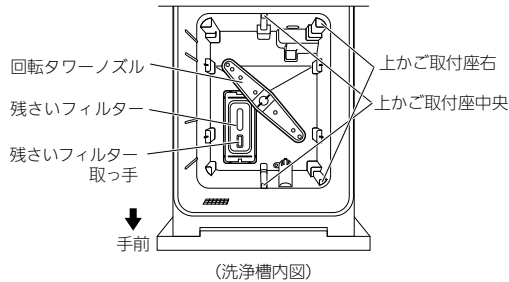
1 回転タワーノズル
洗浄槽の中央突起部に回転タワーノズルを差し込む
ロックなどはありません。取り付け後、
軽く回すことを確認してください。



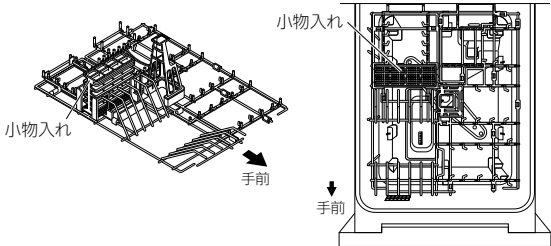
2 残さいフィルター
洗浄槽左手前の湯わかしヒーター格納部に
残さいフィルター取っ手が手前になるように
取り付ける
溝からズレていないか、確認してください。



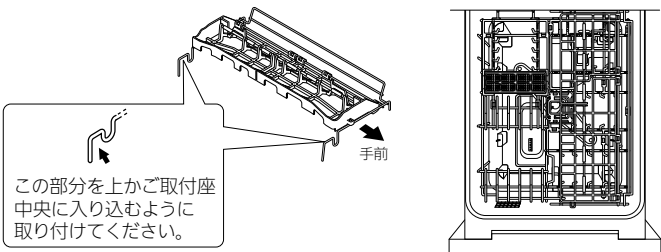
回転タワーノズルと残さいフィルターを、
下図のように取り付ける
図はEW-45Hシリーズ、EW-45Vシリーズのものです。



3 下かご
下かごは、小物入れを取り付けたまま、小物入れが
洗浄槽の奥側になるように取り付ける

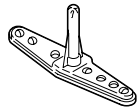


4 上かご
洗浄槽中央および右側の突起部に掛かるように
取り付ける

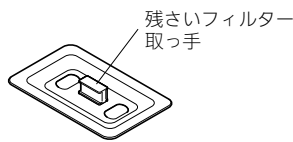


EW-45R2シリーズの場合

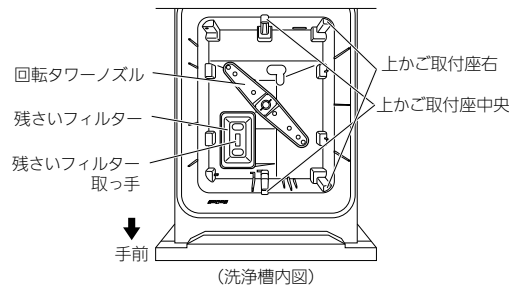
1 回転タワーノズル
洗浄槽の中央突起部に回転タワーノズルを差し込む
ロックなどはありません。取り付け後、
軽く回すことを確認してください。



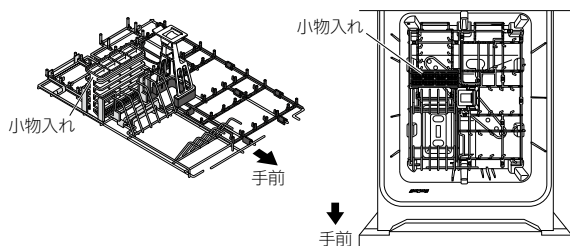
2 残さいフィルター
洗浄槽左手前の湯わかしヒーター格納部に、
残さいフィルターを取り付ける
溝からズレていないか、確認してください。



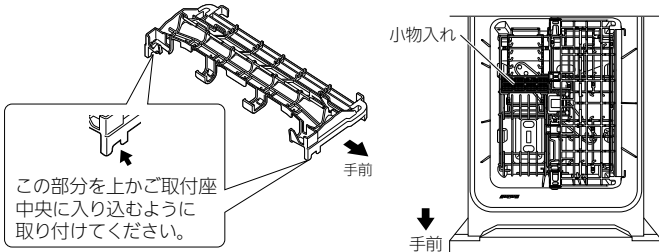
回転タワーノズルと残さいフィルターを、
下図のように取り付ける



3 下かご
下かごは、小物入れを取り付けたまま、小物入れが
洗浄槽の奥側になるように取り付ける



4 上かご
洗浄槽中央および右側の突起部に掛かるように
取り付ける



8 据付け後の確認(チェックリスト)

●据付けが完了しましたら、下表に従って点検してください。不具合がありましたら
必ず直してください。(機能が確保できないばかりか、安全性が確保できません)

点 検		点 検 内 容	チェック
その機器及び周辺	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか。	
	転倒防止金具 前ズレ防止金具	転倒防止金具及び前ズレ防止金具は取り付けましたか。	
排水接続	給湯機との接続の場合	指定する給湯機に接続されていますか。(設定温度60℃以下)	
	フィルター	給水ホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	
電気接続	排水ホース	排水管に排水ジョイントを確実に接続したことを確認しましたか。 また、押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	
	試 運 転	電源コンセントは専用回路で、電源プラグ125V、15A以上のアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。 アース線を接続しましたか。	
		P28～31の「9 試運転」を行い、正常に動作しましたか。	

●下表の項目は、P28～31の「9 試運転」実施後に確認してください。

点 検	点 検 内 容	チェック
試 運 転 後	給・排水ホースなどからの水漏れがないか確認しましたか。	
	止水栓は、開けたままになっていますか。 (本機への通電を切る場合は、止水栓を閉めてください) お客様に引き渡すまでは、必ず家屋の元水栓を閉めてください。	

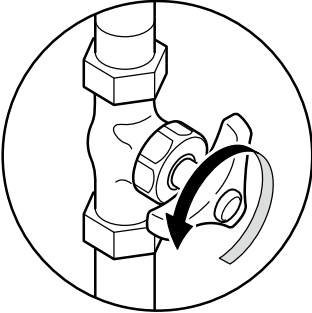
9

試運転

9-1

：試運転方法

- お客様(発注者様)立ち会いで、試運転を行ってください。

●据付け終了後、試運転を必ず実施してください。
- 試運転を行わなかった場合、下水ガスが排水配管を通り、食器洗い乾燥機に逆流し、においの原因や金属部品の腐食の原因になり、故障のおそれがあります。食器洗い乾燥機本体内部の排水経路に排水トラップが設けてあり、試運転を行うことによって、排水トラップ内に洗浄水を貯め封水し、下水ガスの逆流を防止することができます。
- ※本機への通電・通水が不可状態で試運転が行えない場合は、通電・通水が可能になった時に、必ず試運転を行ってください。
- ※本機への通電がない場合は、止水栓は開けないでください。
- 

操 作 手 順	表 示
EW-45L1シリーズ EW-45H1シリーズ （電源 入）（切は2秒長押し） エコ 標準 念入り 低溫 ミスト 乾燥 予約 お手入れ ・コース スタート 一時停止 ①②③④	①「コース」を押し、電源がONの状態にする
	②「スタート/一時停止」を6秒長押しする(2秒長押しした時点で「ピ」と音がし、ランプ表示が消えるがそのまま押し続ける)
	③「スタート/一時停止」を押す
	※あやまって「コース」を押した場合、別のモードになります。 ブレーカーを切り、再度①からやり直してください。
	④「スタート/一時停止」を押す
	※洗浄3分、乾燥2分を行い通常コース選択に戻る。 (約8分の工程です。洗浄音と排気口風をご確認ください)
EW-45V1シリーズ （電源 入）（切は2秒長押し） ミスト 標準 少量 念入り お手入れ 低溫 乾燥 予約 ・コース スタート 一時停止 ①②③④	①「コース」を押し、電源がONの状態にする
	②「スタート/一時停止」を6秒長押しする(2秒長押しした時点で「ピ」と音がし、ランプ表示が消えるがそのまま押し続ける)
	③「スタート/一時停止」を押す
	※あやまって「コース」を押した場合、別のモードになります。 ブレーカーを切り、再度①からやり直してください。
	④「スタート/一時停止」を押す
	※洗浄3分、乾燥2分を行い通常コース選択に戻る。 (約8分の工程です。洗浄音と排気口風をご確認ください)

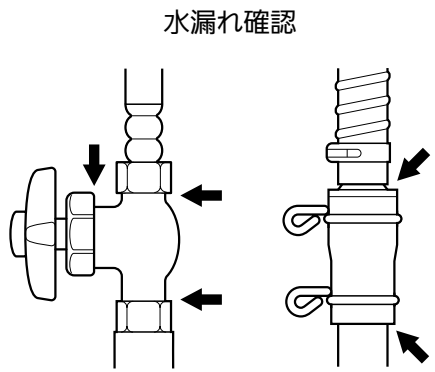
操 作 手 順	表 示
EW-45R2シリーズ （電源 入）（切は2秒長押し） お手入れ 4~5人 1~3人 念入り 点検 乾燥 予約 ・コース スタート 一時停止 ①②③④	①「コース」を押し、電源がONの状態にする
	②「スタート 一時停止」を約6秒長押しする(約2秒長押しした時点で「ピッ」と音がし、ランプ表示が消えるが、そのまま押し続ける)
	③「スタート 一時停止」を押す
	※あやまって「コース」を押した場合、別のモードになります。 ブレーカーを切り、再度①からやり直してください。
④「スタート 一時停止」を押す	お手入れ ランプ点灯 (試運転モードスタート)
	※洗浄3分、乾燥2分を行い、通常コース選択に戻る (約8分の工程です。洗浄音と排気口風をご確認ください)

9-2

：確認項目

- 運転中、給・排水の接続部や止水栓、その他からの水漏れが無いことを、十分確認してください。
- ドアを開け、庫内の水が排水されることを確認してください。
(庫内に水が残っている場合は、排水ホースのつぶれ、ねじれが考えられます。排水ホースを点検し、不具合を直してください)

※試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。
※本機への通電を切る場合は、止水栓を閉めてください。
※お客様に引き渡すまでと長期間居住されない場合は、万が一の水漏れを防止するため、必ず家屋の元水栓を閉めてください。



9-3：異常報知について

- 試運転でブザーが鳴り続け、表示部が点滅してる場合は、表の内容を確認してください。

EW-45L1シリーズ・EW-45H1シリーズ

表 示	原 因	処 置
エコ標準 念入り 低温 ミスト 乾燥 予約 お手入れ	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため	●電源スイッチを「切」にする ●断水の場合は、断水の回復を待って運転する ●水道栓(元栓および収納キャビネット内の止水栓)は、必ず開栓する ●電源(ブレーカー)を切る場合は、止水栓は必ず閉める
エコ標準 念入り 低温 ミスト 乾燥 予約 お手入れ	機内の水漏れ	●修理が必要です。 ※止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。(修理完了まで、ランプが点滅します) ●電源(ブレーカー)を切らないでください。
エコ標準 念入り 低温 ミスト 乾燥 予約 お手入れ	排水不良	●排水ホースの折れなどを確認してください。 ●排水しても水位センサーがOFFしません。 ●修理が必要です。 ※止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。(修理完了までランプが点滅します)

EW-45V1シリーズ

表 示	原 因	処 置
ミスト標準 少量 念入り お手入れ 低温 乾燥 予約	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため	●電源スイッチを「切」にする ●断水の場合は、断水の回復を待って運転する ●水道栓(元栓および収納キャビネット内の止水栓)は、必ず開栓する ●電源(ブレーカー)を切る場合は、止水栓は必ず閉める
ミスト標準 少量 念入り お手入れ 低温 乾燥 予約	機内の水漏れ	●修理が必要です。 ※止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。(修理完了まで、ランプが点滅します) ●電源(ブレーカー)を切らないでください。
ミスト標準 少量 念入り お手入れ 低温 乾燥 予約	排水不良	●排水ホースの折れなどを確認してください。 ●排水しても水位センサーがOFFしません。 ●修理が必要です。 ※止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。(修理完了までランプが点滅します)

EW-45R2シリーズ

表 示	原 因	処 置
お手入れ 4~5人 1~3人 念入り 点検 乾燥 予約	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため	●電源スイッチを「切」にする ●断水の場合は、断水の回復を待って運転する ●水道栓(元栓および収納キャビネット内の止水栓)は、必ず開栓する ●電源(ブレーカー)を切る場合は、止水栓は必ず閉める
お手入れ 4~5人 1~3人 念入り 点検 乾燥 予約	機内の水漏れ	●修理が必要です。 ※止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。(修理完了まで、ランプが点滅します) ●電源(ブレーカー)を切らないでください。
お手入れ 4~5人 1~3人 念入り 点検 乾燥 予約	排水不良	●排水ホースの折れなどを、確認してください。 折れなどがない場合は、修理が必要です。 ※止水栓(キャビネット内)を閉めたうえ、販売店にご連絡ください。(修理完了まで、ランプが点滅します)

- 上記の処置後、再度試運転を行ってください。
- 上記以外の表示が出た場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら(こんな表示が出たら)」のページを参照ください。

9-4：試運転後の作業

据付け前の作業で外した収納キャビネットの引き出しおよび点検口のフタなどを、元の状態になるよう取り付けてください。

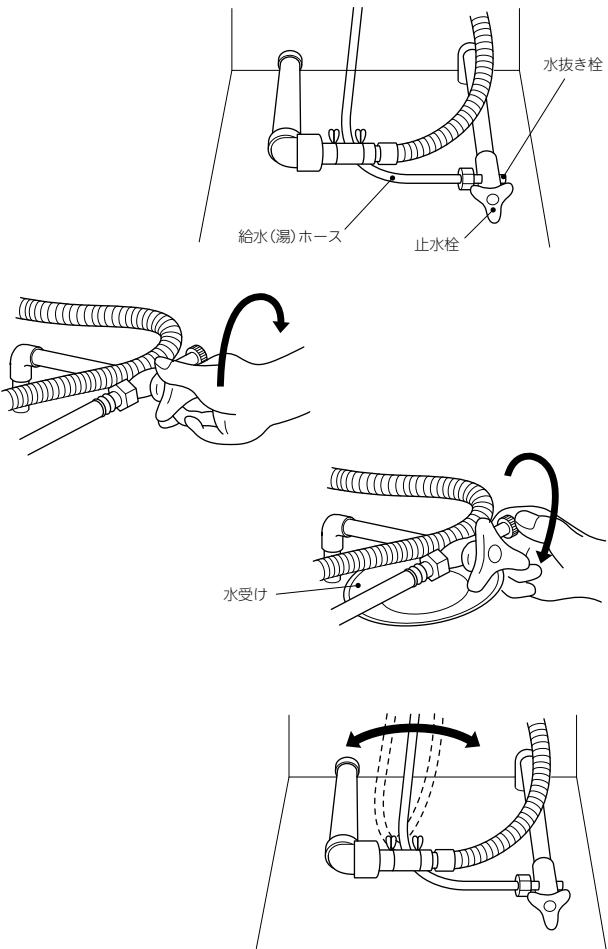
10 お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使いかたをご説明ください。
特に「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- ご使用になられるお客様がご不在の場合、発注者(オーナー・ゼネコン)様や管理人様へご説明ください。
- 保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。
- この据付説明書は据付け終了後、お客様へ必ずお渡しください。なお、(同梱の)取扱説明書および保証書は、必ずお客様にお渡しください。
- 長期使用製品安全点検制度と所有者登録の方法を説明し、所有者票をお客様にお渡しいただくか、お客様の承諾を得て代行記入し、投函してください。
- お引き渡し時、お客様に止水栓の位置をお知らせください。
- ご使用の前に下記をご確認いただくようご説明ください。
 - ・ ブレーカーは「入」にしていますか？
 - ・ 止水栓は開いていますか？
 - ・ 給湯温度は60℃以下になっていますか？

寒冷地で冬季に長期間ご使用にならない場合の水抜き方法(機内給水経路)

寒冷地で冬季に長期間ご使用にならない場合は、下記の水抜き方法を説明ください。

- 1 止水栓を閉じる
- 2 水抜き栓下部に水受けを置き、水抜き栓を取り外す
 - 水受けは約100mLが受けられる皿またはタッパーを準備する(高さ25mm以下)
- 3 電源を入れて、「スタート 一時停止」を押す(給水弁が開放される)
 - 運転は乾燥専用以外いずれも可
- 4 給水(湯)ホースを左右に振ったり、軽くたたく
 - 水受けに残水が排出されてた後も、水抜き栓開口部に乾いた布を押し当て、内部の水を吸い取る(水滴が落ちなくなるまで)
- 5 電源を切って、排出水进行处理する
- 6 水抜き栓を取り付ける(必ず守ること)
 - 止水栓は再使用するまで、閉じたままにする



三菱電機株式会社
三菱電機木工機器株式会社
〒369-1295 埼玉県深谷市小前田 1728-1